

作成日 : 2014 年 6 月 9 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ハチハチフロアブル
 会社名 : OAT アグリオ株式会社
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階
 担当部署 : 品質保証部
 電話 : 088(684)0220
 FAX : 088(686)7055
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0256(事業推進部)
 整理番号(SDS No.) : OAT0138-7

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分 3
急性毒性(経皮)	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 1(全身)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 1(肝臓、脾臓、生殖器)

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分 1
水生環境慢性有害性	区分 1

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	飲み込むと有毒	H301
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い	H361
	全身の障害	H370
	長期又は反復暴露による肝臓、脾臓、生殖器の障害	H372
	水生生物に非常に強い毒性	H400
	長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性	H410

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。(P201)
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
 ミスト/スプレーを吸入しないこと。(P260)
 取扱い後手及び眼をよく洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
 必要な時以外は環境への放出を避けること。(P273)
 保護手袋/保護衣/保護メガネを着用すること。(P280)
 指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

【応急措置】

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
 暴露又はその懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。(P308+P313)
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。(P314)

特別な処置が必要である。(この MSDS の 4. 応急措置を参照) (P321)
 口をすすぐこと。(P330)
 漏出物は回収すること。(P391)

【保管】

施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること。(P501)

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名(又は一般名) : トルフェンピラド水和剤(殺虫剤)

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
4-クロロ-3-エチル-1-メチル-N-[4-(p-トリルオキシ)ベンジル]ピラゾール-5-カルボキサミド(トルフェンピラド)	15.0	129558-76-5	無し	8-(2)-1836
水、界面活性剤等	85.0	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに空気の清浄な場所に移動させる。
 横にさせて安静にさせる。
 呼吸困難を訴える場合には酸素を吸入させる。
 また、呼吸が停止している場合には直ちに人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

直ちに医師の診断を受ける。
 直ちに汚染された衣服や靴等を脱ぎ、付着または接触部を流水と石鹸を用いて十分に洗浄する。

目に入った場合

刺激等の異常がみられる場合には医師の診断を受ける。
 速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行い、眼科医の診断を受ける。

眼をこすってはならない。

飲み込んだ場合

洗眼は瞼を指で開いて行う。
 直ちに水で口腔内を洗浄する。
 コップ 1~2 杯の水を飲ませ、胃中のものを吐き出させる。
 速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

火災時の特定危険有害性

特定の消火方法

多量の噴霧水、粉末、炭酸ガス、泡沫、砂。
 加熱分解すると、一酸化炭素等の有害ガスを発生するおそれがある。
 火災が発生した場合には、到着した消防署員や警察官に本品があることを知らせる。
 周辺火災の場合で移動可能な容器は、安全に行える場合に限り火災場所から搬出する。
 移動不可能の場合には、容器に注水して冷却する。
 鎮火後には本品や消化液が河川等に流入しないよう処置をする。
 必ず自給式呼吸器と適切な保護服を着用して風上より消火を行う。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

周辺の池や川に流入しないように注意する。

除去方法

漏洩した液は土壌等でその流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な空容器にできるだけ回収し、そのあとを土壌で覆って、充分接触させた後、土壌を取り除き、多量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

取扱いの際は製品ラベルの注意事項をよく読み、適正に使用する。
 取扱いは厳重に注意して、漏洩、身体との接触等を避けなくてはならない。
 直接薬液に触れるおそれのある場合は必ず保護メガネ、不浸透性手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスク(火災時:空気呼吸器)を着用する。

使用の際は、禁煙、禁酒を守ること。
 取扱い後、飲食、喫煙の前には必ず顔や手をよく洗う。
 的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。
 作業着は再使用の前に洗濯する。
 保管 本品の保管は、毒物及び劇物取締法に定めるところに従う。
 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内で使用する場合には、作業場の換気を行う。
 管理濃度 : 管理濃度(作業環境評価基準(昭和63年労働省告示第79号))は設定されていない。
 許容濃度 : トルフェンピラドに対する許容濃度は、日本産業衛生学会によって勧告されていない¹⁾。
 保護具

呼吸器用の保護具 : 防護マスク(火災時:空気呼吸器)
 手の保護具 : 不浸透性手袋
 目の保護具 : 保護ゴーグル
 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣及びゴム長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 水和性粘稠懸濁液体
 色 : 類白色
 臭い : ほとんど無し
 pH : 9.4

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし
 融点/凝固点 : データなし
 分解温度 : データなし
 引火点 : データなし
 発火点 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 蒸気密度 : データなし
 比重/密度 : 1.04(25℃)
 溶解性
 水に対する溶解性 : 懸濁
 オクタノール/水分配係数 (log Pow) : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の保管条件では安定。
 反応性 : 知見なし。
 避けるべき条件 : 危険な反応の原因となる条件は知られていない。
 避けるべき材料 : 強酸化剤
 危険有害な分解生成物 : 知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 LD₅₀ 値 : ♂360mg/kg、♀153mg/kg(ラット)
 経皮 LD₅₀ 値 : ♂♀>2000mg/kg(ラット)
 皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚一次刺激性 : 刺激性なし(ウサギ)
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 眼一次刺激性 : 刺激性なし(ウサギ)
 眼刺激性
 感作性 : 皮膚感作性(モルモット) : 皮膚感作性なし
 生殖毒性 : 区分2に分類されるトルフェンピラドをカットオフ値以上含有するため区分2とした。
 特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分1(全身)に分類されるトルフェンピラドをカットオフ値以上含有するため区分1(全身)とした。
 特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1(肝臓、脾臓、生殖器)に分類されるトルフェンピラドをカットオフ値以上含有するため区分1(肝臓、脾臓、生殖器)とした。

12. 環境影響情報

残留性／分解性

トルフェンピラドの土壌吸着係数(K'_{oc})は 15140～149220、加水分解試験における半減期は 1 年以上であるが、水中光分解試験における半減期は 35 時間と比較的速やかに分解する。

生態毒性

LC₅₀(96 時間) : 0.019mg/L(コイ)
 EC₅₀(48 時間) : 0.0053mg/L(ミジンコ)
 EbC₅₀(0-72) : 5.01mg/L(藻類)

13. 廃棄上の注意

本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。

汚染廃液は、湖、河川及び池に流入するおそれのある場所に保管しない。

使用後の空容器は他の用途に使用しない。

薬液を廃棄する場合は、木粉(おがくず)等に吸収させて、スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。
 スクラバーの洗浄液には水酸化ナトリウム水溶液を用いる。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 2902 - その他の殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く)

クラス : 6.1 - 毒物

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 該当

輸送の特定の安全対策及び条件

本品の輸送は適用される法令に従って行う。

運搬に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないよう積み込む。

容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。

容器は乱暴に取り扱わない。

15. 適用法令

農薬取締法

登録番号 第 21056 号

毒物及び劇物取締法

指定令第 2 条 劇物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物: 非該当

化学物質管理促進法(PRTR)

第一種指定化学物質 No.92 トルフェンピラド

消防法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

毒物類・毒物

航空法

毒物類・毒物

高圧ガス取締法

非該当

16. その他の情報

本品を盗難等で紛失した場合には、速やかにその旨を最寄りの警察署及び製造業者に連絡する。

参考文献

- 1) 産業衛生学雑誌, 51, 98(2009)
 2005 TLVs and BEIs (ACGIH)

連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9～21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者
に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や
品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本
品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の
一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状
に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用さ
れるようお願いいたします。